

香川労働局長がベストプラクティス企業として 「神島化学工業株式会社詫間工場」を訪問！

香川労働局長（友住 弘一郎）は、11月の「過重労働解消キャンペーン」の一環として、長時間労働削減等に向けて積極的に取り組んでいる企業（ベストプラクティス企業）を訪問し、取組内容の説明を受けるとともに、当該内容を広く紹介することで、働きやすい労働環境の整備に努めています。

今回は、2025年11月20日（木）に、三豊市長、株式会社百十四銀行頭取と合同で神島化学工業株式会社詫間工場を訪問しました。

【ベストプラクティス企業概要】

神島化学工業株式会社 詫間工場

- ・本社所在地：大阪府大阪市中央区今橋四丁目4番7号
- ・所 在 地：香川県三豊市詫間町香田80番地
- ・創 業：1917年
- ・業 種：建材・化成品・セラミックス事業
- ・従 業 員 数：672人（令和7年4月末現在）



常務取締役相川様からの説明

相川常務取締役様から企業の沿革、現在展開している事業内容の説明、製品の詳細、働き方改革への取組、ICTの導入方針、今後の展望などについての説明を受けました。

ICTグループという部署を設け、ICTによる生産性向上や業務効率化に取り組んでおられること、そのメンバーである谷さんがAIによる検査部門の効率化と労働時間削減を図られたことを伺いました。

ICTグループ谷様からの説明

女性技術者として入社し、AIによる検査業務の効率化に取り組みました。従来の検査業務は、紙記録、パソコン入力、報告書やグラフ作成との手順が必要でしたが、AIによる製品の一次的な検査の導入により検査員1人あたり1日1.5時間程度作業時間を削減でき、体制を縮小することができました。AIの客観的判断による品質の安定化、生産性向上、人的ミスの削減にも繋がりました。

検査部門の方から楽になったとの声をいただき嬉しく感じています。



品質管理グループ藤田様からの説明

AIにより検査の負担や所要時間が減り、データ分析に充てる時間ができ、また、早く帰れるようになつたため、家族のための時間が増えました。



AIによる製品検査の説明を受けている様子

意見交換を行っている様子

意見交換

【ICTグループの声】

当初は、作業現場のことがわからず、現場に合ったものが作れないのではという不安がありましたが、現場に足を運ぶとともに、現場作業の実態を教えてもらい、現場の声を聞きながらAIによる製品検査システムを制作しました。現場で実際に検査されている方から「楽になった」と実感いただいていることが一番嬉しいです。

最近では現場の方からICTにより効率化してほしい業務を提案いただけるようになり、現場の方に頼ってもらえるようになったのかなと嬉しく感じています。

今後もAI活用により労働時間削減・生産性向上を図り現場の方に喜んでもらいたいです。

【製造現場の声】

当初は、AIアレルギーもあり、わからないことばかりでしたが、ICTグループからの丁寧な提案・説明があり、業務効率化につながっていると感じています。使ってみて利便性の高さを実感しており、今では現場からAIで効率化したい業務を提案するなど、頼りにしています。

【労働局長】

三豊市の山下市長、(株)百十四銀行の森頭取とともに大変意義のある訪問をさせていただきました。AI活用により業務効率化と労働時間の削減につながったこと、ICTグループによる効率化の取組と現場との距離が近くなったことが伺え、労働時間削減、働き方改革、生産性向上や女性活躍推進など、色々な価値を感じられる事例でした。更なる生産性向上の取組に期待とともに、香川県で重要な女性活躍推進のモデルケースとして頑張っていただきたいです。



非常に有意義な意見交換をすることができました。ご参加、ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

左から

三豊市長 山下様

神島化学工業株式会社
ICTグループ長 田原様

神島化学工業株式会社
常務取締役 相川様

香川労働局長 友住

神島化学工業株式会社
ICTグループ 谷様

株式会社百十四銀行頭取 森様